



たかあきのぐち高明通信

～12月定例会・市政報告書～

発行責任者：
保守系無所属『越谷刷新クラブ』
越谷市議会議員 のぐち高明
〒343-0032
埼玉県越谷市袋山 2039
Tel:048-919-2772
Mail:otoiawase.noguchitakaa
ki@gmail.com

2022. 1
Vol.13
PST

※右のQRコードを読み取ると、過去の私の一般質問の動画、ならびに過去の市政報告書が表示されます。通信料につきましては各自個人負担をお願いいたします。
なお、動画はWi-Fi環境下での視聴をお勧めします。

【12月定例会・市長提出議案】

●可決された議案のうち主な事項(抜粋)

★一般会計補正予算(第8号)

子育て世帯臨時特別支援金(50億290万円)

【目的】

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、子どもたちを力強く支援し、その未来を開く観点から18歳までの子ども1人につき現金10万円を支給する。

年収:妻500万円 夫500万円 世帯年収:1,000万円 年収:妻0万円 夫1,000万円 世帯年収:1,000万円



年収:妻950万円 夫950万円 世帯年収:1,900万円 年収:妻1,000万円 夫100万円 世帯年収:1,200万円



越谷市で10万円給付が受けられない子どもは約5,000人。本市で必要な財源は約5億円。
今回の子育て世帯への10万円給付は、世帯年収の逆転減少などによる不公平が発生している。
目的が全ての子育て世帯への応援である以上、全ての子どもたちは平等に給付されるべきと考える。

《この議案に対し市長へ質疑を行いました。以下抜粋》

Q(中略)本市で対象から外れた18歳までの子どもたち約5,000人に10万円を配布すると、必要な本市独自の財源は約5億円の支出となる。先ほど可決された一般会計補正予算(第7号)では、コロナ禍による税収への影響は、本年度当初予算策定時に想定していたリーマンショックほどではなかったとのことで、市税歳入の追加11億7,200万円が可決成立している。

この状況からも、本年度予算内で本市独自財源にて所得制限を撤廃することが可能な状況であったと考える。

世帯年収と主たる生計者の年収で「貰える」「貰えない」の逆転現象が起きてしまう不公平があることや、平等に子育て支援を行うという観点、また市長の所信表明でも示された「子どもが輝く社会に」や「公平なルール」の観点からも、現金10万円は本市全ての子どもたちに公平に行き渡るのが適切である。

子育て世帯等臨時特別支援事業の所得制限について、本市独自として撤廃されなかった理由について、福田市長の見解は？

A 今回の給付事業については、税の積み戻しはあったが、市の政策として子育て以外にも様々なケースがある。そのようなことから、総合的に勘案し、国制度に倣って予算を計上するというにしました。(行財政部長答弁)



のぐち 高明
過去動画一覧



のぐち 高明
過去市政報告書一覧
Vol.1～ Vol.13

〔12月定例会を終えての感想〕

12月定例会より補欠選挙によって新たに4名の市議会議員が議会に加わりました。私の同期としては3人が加わったことで、1期生は32名中の9名となりました。

市民の皆様におかれましては、市長も変わりましたので、市長提出議案や、他の議員の主張や提言等にも是非注目していただき、市政に対して何卒関心を持ってくだされば幸いです。



令和4年3月定例会(予定)

2月21日(月) 開会

25日(金)～3月1日(火)

市政に対する代表質問
市長提出議案に対する質疑
予算決算常任委員会(全体会)

3月2日(水)～16日(水)

各常任委員会及び
予算決算常任委員会(分科会)

17日(木)

予算決算常任委員会(全体会)
質疑・討論・採決・閉会

